授業科目名・形態	病態治療学Ⅱ（整形外科）　演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
担当者氏名	横山　徹	実務経験の有無	有	開講期	２年後期
科目ナンバリング	N3-2009npmht				

【授業の主題】

運動器の構造と機能および運動器疾患についての理解を深め、その看護についての基本的考え方や実際について学ぶ。

【到達目標】

運動器の知識を身につけて臨床で役立てることができる。国家試験に合格する。

【授業計画・内容】

第 1 回　運動器の役割、運動器の構造と機能、運動器疾患の症状
第 2 回　運動器疾患の診察、検査、治療法
第 3 回　外傷の診療
第 4 回　外傷の診療（神経）、脊椎疾患、四肢疾患（変形性関節症、スポーツ障害）、感染症
第 5 回　リウマチ性疾患、骨粗鬆症・代謝性疾患、先天性疾患、骨軟部腫瘍

【授業実施方法】

スライドを使った講義と配布資料

【事前・事後学習】

・講義内容に関する事前学習を毎回 30 分以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習を毎回 30 分以上行うこと。

【授業準備】

講義予定範囲の教科書の予習

【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

新体系 看護学全書　成人看護学 11　運動器　メヂカルフレンド社

【参考文献】

配布資料により提示

【成績評価方法】

筆記試験 80%　授業態度等 20%　により総合的に評価する

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

整形外科医としての勤務経験から看護師として知っていてもらいたいことを内容にします。

【学生へのメッセージ】

看護師国家試験問題も考慮した講義内容とします。
講義時間内で触れることができる範囲は限られるので復習、自己学習で補ってください。
社会人としての最低限のマナーを守ってください。